



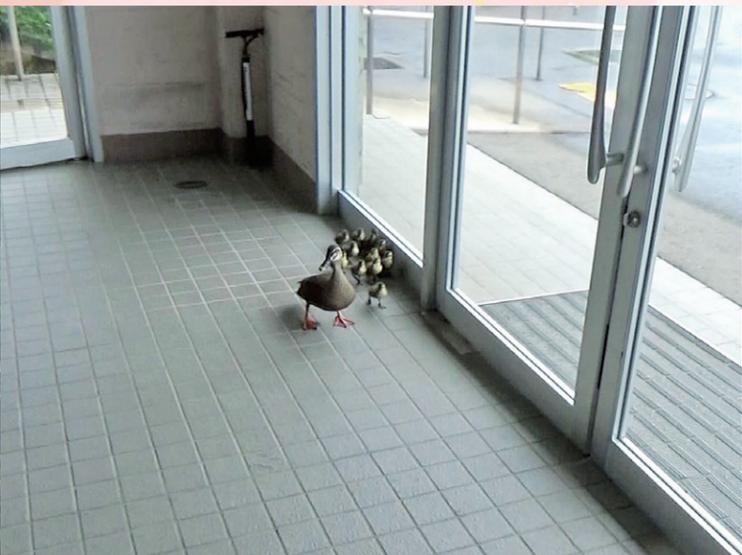
第54号

梅苑会報



福島県立福島高等学校

福高のカモと中庭の池



今年度前半、福島高校内で話題をさらったのは、校舎内の中庭の池に引越してきた親子のカモだ。親ガモと小ガモで計十羽ほど、いつの間にか姿を現したカモたちは、池の中を自由に泳ぎ回り、一躍校内の人気者となった。

親子で連れだって池の中を可愛らしく泳ぐ様子や、小ガモたちが一所に集まって何やら話し合いでもしているかのように見える姿などが癒やしとなり、連日その様子をスマートフォンやカメラで撮影しようとする生徒や職員たちの姿が見られた。そのカモたちの様子は地方新聞や校内新聞でも紹介されることとなった。カモたちは中庭の池を泳ぐだけでなく、親子で隊列を組み、歩いて正面玄関から外へ出ようと試みることもあった。試みは成功せず、また隊列を組んで歩いて池へと戻る姿も大変に愛らしかった。

カモたちが去った現在、中庭の池は水が抜かれている。聞くところによると、震災前は毎年生徒会の生徒たちが中心となって中庭の水を抜いての大掃除が行われていたそうだが、震災以降は池の水を抜いての大掃除は行われておらず、中庭の水が抜かれている状態は久々にお目見えしたこととなる。

自然生物の集まる中庭の池に水が満たされるようになる頃、次はいかなる来客が福島高校にやってくることとなるのか、楽しみに待ちたいと思う。

column

複数の軸を持つ福高生

主な部活動の活動実績で御覧いただけますように、各部活動での東北大会や全国大会への進出が相次いでいます。他にも、野球部が秋季県北大会で九年ぶりの優勝を飾り、男子バスケットボール部がウィンターカップで県ベスト8に進出するなど躍進も見られます。吹奏楽部や合唱部、ジャズ研究部が定期演奏会やウィンターコンサートを、美術部や書道部が個展を開催したり展示会に出品したりするなど、大会とは違った場面での活躍も見られます。

福高生の活躍は部活動の枠だけに収まりません。ライブイベントを主催するバンドがあったり、自分たちで結成したダンスグループで動画を配信したり、地域の防災マップを作成するサークルがあったり、子ども食堂へのチャリティーに参加する生徒たちがいたり。福島県内の生産者さんの想いを取材して広報誌を作る生徒たちもいます。勉学に励むひとつの軸とともに、勉学以外の軸を併せ持つ福高生を頼もしく感じています。どうぞこれからも、勉学にも勉学以外にも励んでいる福高生への温かいご支援をお願いいたします。

令和5年度予算書（令和4年9月1日～令和4年8月31日）

令和5年度 一般会計予算書(案)

項目	予算額	摘要
(1)繰越金	1,671,926	
(2)卒業生入会金	816,000	R2年度入学生(272名×3,000円)
(3)卒業生年会費	272,000	R2年度入学生(272名×1,000円)
(4)同窓生年会費	2,000,000	同窓会会員(約1,000名×2,000円)
(5)雑収入	50	利息
(6)雑入金	500,000	母校後援会会計より
合計	5,259,976	

2.支出の部

項目	予算額	摘要
1.事業費	4,000,000	
(1)総会費	680,000	定期総会開催に関する費用
(2)会報費	3,000,000	梅苑会報印刷、郵送料、振替用紙
(3)母校後援費	290,000	卒業生証書ホルダー
(4)特別事業費	30,000	
2.運営費	875,000	
(1)会議費	200,000	役員会、幹事会
(2)事務諸費	5,000	文具費
(3)交際費	100,000	関東・みやぎ梅苑会お祝い、職員饗別、その他
(4)慶弔費	20,000	
(5)通信費	40,000	切手、葉書代
(6)旅費	500,000	関東・みやぎ梅苑会出席者旅費
(7)雑費	10,000	
3.予備費	384,976	
合計	5,259,976	

項目間の流用をお認め願います。

令和5年度 母校後援会会計予算書(案)

項目	予算額	摘要
(1)繰越金	700,948	
(2)卒業生年会費	272,000	卒業生(272名×1,000円)
(3)同窓生年会費	1,300,000	同窓会会員(約700名)
(4)雑収入	50	利息等
合計	2,272,998	

2.支出の部

項目	予算額	摘要
(1)後援会費	300,000	H P更新、母校への助成等
(2)部活動助成	300,000	全国大会出場への助成金
(3)一般会計	500,000	一般会計への繰り入れ
(4)太宰府梅基金	100,000	太宰府梅基金への繰り入れ
(5)梅苑会館維持管理費	300,000	梅苑会館維持管理への繰り入れ
(6)会員名簿管理費	720,000	令和4年度分
(7)予備費	52,998	
合計	2,272,998	

項目間の流用をお認め願います。

令和5年度 梅苑会館維持管理会計予算書(案)

項目	予算額	摘要
(1)繰越金	4,086,157	
(2)積立金	300,000	母校後援会会計より
(3)雑収入	50	利息等
合計	4,386,207	

2.支出の部

項目	予算額	摘要
(1)修繕費	500,000	
(2)備品費	300,000	
(3)予備費	3,586,207	
合計	4,386,207	

令和5年度 太宰府梅基金会計予算書(案)

項目	予算額	摘要
(1)繰越金	2,511,633	
(2)同窓会梅基金	100,000	母校後援会会計より
(3)雑収入	50	利息等
合計	2,611,683	

2.支出の部

項目	予算額	摘要
(1)飛び梅交際費	550,000	交際費、接待費、諸経費等
(2)飛び梅管理費	70,000	肥料・消毒代等
(3)予備費	1,991,683	
合計	2,611,683	

項目間の流用をお認め願います。

令和5年度 一六回奨学会会計予算書(案)

項目	予算額	摘要
(1)繰越金	6,000,398	
(2)同窓会寄付金	0	
(3)雑収入	50	利息等
合計	6,000,448	

2.支出の部

項目	予算額	摘要
(1)交付金	3,500,000	令和5年度交付金(7名)
(2)予備費	2,500,448	
合計	6,000,448	

項目間の流用をお認め願います。

令和4年度決算書（令和3年9月1日～令和3年8月31日）

令和4年度 一般会計決算書

収入決算額...5,572,513円 支出決算額...3,900,587円 次年度へ繰越額...1,671,926円

項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	1,684,499	1,684,499	
(2)卒業生入会金	828,000	816,000	H31年度入学生(272名×3,000円)
(3)卒業生年会費	276,000	272,000	H31年度入学生(272名×1,000円)
(4)同窓生年会費	2,000,000	2,300,000	会員(891名)
(5)雑収入	50	14	利息
(6)雑入金	500,000	500,000	母校後援会会計より
合計	5,288,549	5,572,513	

2.支出の部

項目	予算額	決算額	摘要
1.事業費	4,000,000	3,544,354	
(1)総会費	680,000	447,710	定期総会開催に関する費用
(2)会報費	3,000,000	2,852,884	梅苑会報印刷、郵送料等
(3)母校後援費	290,000	243,760	卒業生証書ホルダー
(4)特別事業費	30,000	0	
2.運営費	875,000	356,233	
(1)会議費	200,000	132,440	R3年第2回役員会、R4第1回役員会、常任理事懇話会
(2)事務諸費	5,000	413	文具等
(3)交際費	100,000	0	
(4)慶弔費	20,000	22,000	
(5)通信費	40,000	59,900	書類送付代、往復葉書
(6)旅費	500,000	141,480	関東・みやぎ梅苑会出席旅費
(7)雑費	10,000	0	
3.予備費	413,549	0	
合計	5,288,549	3,900,587	

令和4年度 母校後援会会計決算書

収入決算額...2,577,373円 支出決算額...1,876,425円 次年度へ繰越額...700,948円

項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	1,005,363	1,005,363	
(2)卒業生年会費	276,000	272,000	H31年度入学生(272名×1,000円)
(3)同窓生年会費	1,300,000	1,300,000	会員(646名)
(4)雑収入	50	10	利息
合計	2,581,413	2,577,373	

2.支出の部

項目	予算額	決算額	摘要
(1)後援会費	300,000	161,425	同窓会HP利用更新、賞状名入れ、記念品
(2)部活動助成	300,000	100,000	全国大会出場助成等
(3)一般会計	500,000	500,000	一般会計への繰り入れ
(4)太宰府梅基金	100,000	100,000	太宰府梅基金への繰り入れ
(5)梅苑会館維持管理費	300,000	300,000	梅苑会館維持管理への繰り入れ
(6)会員名簿管理費	720,000	715,000	会員データ管理業務
(7)予備費	361,413	0	
合計	2,581,413	1,876,425	

令和4年度 福島高校同窓会梅苑会館維持管理会計決算書

収入決算額...4,529,537円 支出決算額...443,380円 次年度へ繰越額...4,086,157円

項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	4,229,503	4,229,503	
(2)積立金	300,000	300,000	同窓会会費(母校後援会会計より繰り入れ)
(3)雑収入	50	34	利息
合計	4,529,553	4,529,537	

2.支出の部

項目	予算額	決算額	摘要
(1)修繕費	500,000	30,580	記念棟小会議室蛍光灯・大ホールランプ
(2)備品費	300,000	412,800	記念棟大ホール用テーブル
(3)予備費	3,729,553	0	
合計	4,529,553	443,380	

令和4年度 県立福島高校同窓会太宰府梅基金会計決算書

収入決算額...3,000,986円 支出決算額...489,353円 次年度へ繰越額...2,511,633円

項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	2,900,963	2,900,963	
(2)同窓会梅基金	100,000	100,000	同窓会会費(母校後援会会計より繰り入れ)
(3)雑収入	50	23	利息
合計	3,001,013	3,000,986	

2.支出の部

項目	予算額	決算額	摘要
(1)飛び梅交際費	550,000	413,090	旅費、接待費、贈答品
(2)飛び梅管理費	70,000	76,263	土壌改良工事
(3)予備費	2,381,013	0	
合計	3,001,013	489,353	

令和4年度 福島高校同窓会一六回奨学会会計決算書

収入決算額...6,500,396円 支出決算額...500,000円 次年度へ繰越額...6,000,396円

項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	6,500,342	6,500,342	
(2)寄付金	0	0	
(3)雑収入	50	54	利息
合計	6,500,392	6,500,396	

2.支出の部

項目	予算額	決算額	摘要
(1)交付金	3,500,000	500,000	令和4年度交付金(1名)
(2)予備費	3,000,392	0	利息
合計	6,500,392	500,000	



同窓会会長
芳賀 裕
(高校第22回卒)

気づきや学びの場 としての 福高同窓会

去る令和4年11月18日、長く引くコロナ禍の中で令和4年度同窓会総会が、3年目となる懇親会のない形で開催されました。今年度も関東梅苑会、みやぎ梅苑会の各総会は未開催となり同窓生の士気も些か鈍りがちではないか心配です。さて、今年度総会時の記念講演では、今年度文科省より4期目の指定を受けたスーパースタイルハイスクール(SSH)部の生徒たちの時期を得た研究発表(①アルミ缶を用いた人工ルビーの合成②バクテリアセルロースによるストローの開発と評価)を拝見させていただき「自分の高校時代と違うな」と羨ましく思う反面、「今の生徒たちなら未来を担っていける」と期待感が膨らみました。

また、昨年8月27日、28日に3年ぶりに限定公開された「梅苑祭2022」を訪れた際にも、生徒たちが自ら楽しみながらも福高生の今を多くの方々に理解してもらおうとの思いが伝わってくるようで誇らしく感じました。

一方、世界の情勢は今、混乱の中にあると言えます。昨年2月24日突然に始まったロシアのウクライナ侵攻は未だ解決の兆しが見えず、我が国の経済、平和安全政策にも大きな影響を及ぼしつつあります。この危機的状況に接し、昨年3月初旬にいち早く「ウクライナ緊急募金 福島高校若者有志の会(72回卒太田朝弓代表ら16、20歳の13名)」は、在校生と協力し、ウクライナの子どもたちを助けたいと地元小中学校にも働きかけ「ユニセフウクライナ緊急募金」活動を行い、若者たちに「自分たちも役に立ちたい」との思いを広げる大きな一石を投じました。

福高同窓会総会

令和4年度「福高同窓会総会」は11月18日(金)18時よりホテル福島グリーンパレスを会場に開催されました。今年度の総会もコロナウィルス感染症が流行する中での開催でしたので、昨年同様に総会・講演会のみでの実施となりました。

講演会では、スーパースタイル部研究発表として「アルミ缶を用いた人工ルビーの合成」を2年生の大内葵衣さんが、「バクテリアセルロースによるストローの開発と評価」を1年生の加藤舞花さん、岩佐奈々さん、松永楓さんがステージ上で研究成果を発表しました。素晴らしい研究成果の発表に参加者からも質疑応答が相次ぎ、大変に熱のこもった講演会となりました。

総会では、会長・校長の挨拶があり、各議案の承認がなされました。

令和4年度 福高同窓会総会

その年の45回卒の参加者は自分のほかに誰もいなかったので、私が学年幹事を引き受けることになり、翌年の関東梅苑祭では司会まで務めることになってしまいました。その後は毎年の総会や合同同期会の実行委員会に参加するようになり、様々な形で同窓会に携わらせていただいています。

関東梅苑会に関わってきたこと、と思うことの1点目は、とてもシンプルですが、いろいろな方と出会えたことです。現在、熊谷組という建設会社のDX推進部という部署で、会社全体のデジタル化推進に携わっていますが、仕事や普段の



2009年の合同同期会で

生活では知り合う機会がない方々に、関東梅苑会を通して出会うことができ、様々な見聞を広げることができていると感じています。そして2点目は、福高出身であることを思い出す時間が持てるということです。私の高校時代の思い出といえば、やっぱり梅苑祭です。テーマソングが「ヤングマン」だった年があり、梅苑祭で盛り上がった勢いで、後夜祭には「ヤングマン」の曲に合わせて何度か何度も体育館をぐるぐるを走って廻ったことを覚えてくると、なんで走っていたのかはよく覚えていませんが(笑)。忙しく時間に追われて過ごしている、ほとんど浮かぶことのない思い出が、同窓会の仕事の時にふと蘇り、福島高校にいたことを思い出します。母親を東京に呼び寄せて一緒に住んでいるので、今では福島に帰ることも減多になく、福島出身であることを意識することも少なくなりました。気がしますが、関東梅苑会の集まりに参加すると、否が応でも思い出します。福島から関東に出ている私のような者にとつて、自分のルーツのようなものを確認する場は、とても価値のあることなのではないかと思えます。

みやぎ梅苑会だより

令和4年度のみやぎ梅苑会 総会・懇親会は、新型コロナの影響で3年連続の中止となりました。事務局は開催に向けて準備を重ねておりましたので、残念でなりません。令和5年度は開催できることを願っております。詳細は「みやぎ梅苑会オフィシャルホームページ」にてお知らせいたしますのでご確認ください。



羽田 登 (高校9回卒)

みやぎ梅苑会の思い出 (事務局長の頃)

高校9回卒の羽田です。みやぎ梅苑会の事務局長を退任して10年ほどになります。事務局長在任中は関係各位から特段のご支援・ご協力を賜り、楽しい思い出を沢山経験させて頂き、この場をお借りして心から感謝申し上げます。現事務局長の菅野剛広さん(高校34回卒)から執筆依頼があり、引き受けましたが、一昨年自宅の建て替えをしたとき、同窓会名簿をはじめ関係書類を焼却処分したため、記憶を辿りながら記します。記憶違いがありましたらご勘弁下さい。私が任に当たっていた頃は、あの活気に満ち、騒々しかったバブル経済の崩壊直後で、「何か物足りない」雰囲気漂っていた頃であっ

みやぎ梅苑会 オフィシャルホームページ みやぎ梅苑会 検索 <https://miyagi-baienka.com/>

フラッと遊びに行ける集まり



鈴木美慧(高59回)

「福島高校の同窓会とは一体どういう組織で、何をしている場なのか?」

歴史ある高校の共学2期生として3年間過ごし、福島高校同窓会(本部)の入会式に参加しながら疑問に感じていた。卒業式の前日のことだった。卒業生が全員自動的に入会する本部の活動はもとより、有志で結成、活動をしている関東梅苑会の活動に至っては知る由もなかった。私が関東梅苑会の活動を知ったのは、自分と同じ部活に所属していた先輩や同期が参加している様子をSNSで見ただけだった。

その当時は東京から離れた、茨城県の筑波大学に在籍しており、関東梅苑会の活動に参加するには2時間ほどかけて東京に出なければならず(東京・福島間の新幹線よりもかかると)、同窓生の交流に参加してみたい気持ちを持ちつつも、結局は何度も参加を見送っていた。ようやく活動に関わることができたのは学部4年生の終わり。それからもう10年以上が経っている。実際に関東梅苑会に関わってみて、福島の本部や東北、関西といった各地の同窓生の方ともつながり、また



2016年の合同同期会で

様々な立場、職種の方の経験を聞かせてもらう機会があった。特に学生のときには進路、就職についてたくさん先輩方に相談をし、また社会人になってからはプロフェッショナルとしての自己研鑽のあり方や大きな組織のマネジメントを教えていただけた。同窓会はとても個人的な集団であり、各々の活動に触れる機会にもなった。

同窓会の活動は母校という共通項を持つことで、次のコミュニケーションを深めやすいという利点がある。一方で高校時代の縦と横のつながりが希薄だった人にとっては、こうした交流の場を探したり、また参加したいというモチベーションにはならないかもしれない。個人的には、関東梅苑会が決まりきった形やルールにしばられた組織ではなく、緩やかな交流が持ち味であると感じており、フラッと遊びに来ることができる場であればいいと思っている。

の投稿や福島民報・福島民友への行事取材要請などあらゆる方法で呼びかけました。この結果、東邦銀行の同窓生が纏まって参加して頂き、学生グループも加わりました。総会開催時期も企業の決算業務と重ならないよう、4月から6月中に変更しました。

あらゆる手立てを尽くしましたが、総会への参加者の増員には必ずしも結びつきませんでした。総会には、毎回遠路はるばる母校の校長先生・同窓会長・関東梅苑会会長さんにお出で頂き、貴重な情報・話題などを提供頂き、私にとっては至福の一時です。

総会の運営は、橋本俊一さん(高校21回卒)の気配りの行き届いた司会進行で会場を大いに盛り立てて頂き、会員同士の情報交換も活発になり、毎回参加者全員で声高らかに校歌を合唱して散会していただきます。この雰囲気や一人でも多くの会員に味わって頂き、青春の思い出に花を添えたいものです。

仙台では、「土井晩翠先生の作詞した校歌と一緒に歌いましよの会」が、2年ごとに先生の母校である仙台市立立町小学校で開催されています。今は、コロナ感染症予防のため開催を見送っていますが、開催の度、橋本俊一さんの母校紹介に続き、西村晃一さん(高校28回卒)の指揮で元合唱部員が中心になり、素人の私達も参加して、校歌1・2・5番を披露します。特に5番は、曾て日本経済新聞の文芸欄で紹介されたこともあり、高らかに「世のためつくさん」と合

丹治清吉先輩の逝去を悼む

2022年10月24日(月)、丹治名誉会長(高1回卒(昭和24年3月卒業))が亡くなられました。

わたしの父の先輩の方から「僕の高1回の同級生」と丹治先輩を紹介されて初めてお会いし、気さくに接していただいた20数年前のことを懐かしく思い出します。その後、事務局の仕事をお手伝いさせていただく中で、丹治先輩からは同窓会を受け継いでいく強い思いを学ばせていただきました。やりとりする時はいつも電話かFAX・手紙で、パソコンを使わない丹治先輩でしたが、コロナ禍の中、ZOOMを使って行われた2年前のオンライン総会には、ご子息のパソコンから参加され、画面越しに乾杯をさせていただきました。最後にお会いしたのが亡くなる前月の顧問会で、今春の設立30周年を心から楽しみにしておられました。ご子息からの話では、肺炎をこじらせたことによる急逝とのことですので、本当に残念でなりません。謹んでご冥福をお祈りいたします。

事務局 島田久(高31)



設立20周年でスピーチする丹治名誉会長(2013年定期総会)

唱し、毎回会場から大喝采を受けています。

なお、当小学校には土井先生の作詞した校歌を誰でも聴ける部屋が用意されており、勿論母校の校歌も聴けます。

同窓生の交流の場をもっと計画するとか、絆を広め・強固にすることなど諸処話し合いましたが、なかなか実行できず尻切れトンボで退任してしまいました。力不足を心からお詫び申し上げますとともに、次世代の方々が「栄えよ長く」と励んで頂きたいと思えます。皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈願申し上げます。結びとさせていただきます。

みやぎ梅苑会ゴルフ大会3回開催

ゴルフ大会は2019年から始まり、第7回を数え令和4年は3回開催されました。初の平日にも開催し世代を超えて、交流を深めました。

- 第5回...4月10日/グレート仙台カントリー倶楽部
- 第6回...8月28日/松島チサンカントリークラブ
- 第7回...11月15日/表蔵王国際ゴルフクラブ

今年度も3回開催予定です。同窓生のエントリーお待ちしております。





福島高等学校長 佐藤 弘樹

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度は各種行事がほぼ予定どおり実施でき、ほとと胸をなで下ろしております。そのような中、次の3点を報告させていただきます。

まず、福高生になくはならない梅苑祭は、8月に公開（保護者限定）で学校を会場に実施いたしました。従来の開催方法を誰も経験したことのない0からのスタートでしたが、生徒たちはこれまで公開できなかった思いをパワーに変え、様々な企画に挑戦し、大いに盛り上がる事ができました。特に3年生有志による、裏庭に作製した30mのジェットコースターや、後夜祭後に校庭で行った花火の祭典など、ひと昔前に存在した福高生のような（他校ではできない）規格外の内容もあり、「梅苑祭は引き継がれている」と強く感じたところです。

当たり前前の大切さ

次に、研修旅行を10月に実施いたしました。行程は新幹線移動で広島1泊（厳島神社、原爆ドーム研修）、貸切バスで四国を移動し大阪3泊（京都、奈良、大阪、神戸をバス利用でコース別研修）、そして新幹線で帰福。感染対策のため貸切バスの利用に変更しての実施となりました。当初予定の個別研修は実施できませんでしたが別日にオンラインで実施しました。今回の行程は、私たち全ての原点である「日本人であること、国際人であること」の理解を深化させる貴重な時間となりました。

最後に国際交流についてであります。12月にタイ王国のPCSHS（プリンセス・チュラポーン・サイエンスハイスクール）ナコンシータマラート校と協力校の覚書きを結んでまいりました。王国設立の12校からなるPCSHSは、各校が日本のSSH校等3〜4校と協力校関係結び、

高いレベルの学びを展開しています。例年12月には日本の協力校も参加できるサイエンスフェアがあり、協力校ではありませんでしたがこれまで参加させていただき、多くの学びと刺激を受けてきたところです。今回、本校生3名、高橋昌弘教諭とともに渡航し、生徒は発表（首相の前でも）、学校としては正式に協力校締結をいたしました。今後は、より深い関係性のある国際交流先の1つとして、文化交流を展開してまいりたいと思います。

コロナ禍でできなかったことが、やっと実施できた喜びの1年間。しかし忘れてはいけないのは、喜びの裏側に、実施できなかった諸先輩の無念の思いがあること。このような経験から、当たり前前の大切さに気づく人間になって欲しいと切に願っております。

部活動成績

令和4年度主な部活動成績(主に東北大会以上)

- 第44回東北ジュニアテニス選手権大会 ……男子U18ダブルス/緑川瑛準、本田亮斗 女子U16ダブルス、シングルス/鳴海春佳
- 第77回東北高等学校陸上競技大会 ……女子1500m、3000m/今村学実
- 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会とときょう総文2022 ……新聞部門/金子南悠、堀江美音
- 令和4年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技大会 ……女子団体/丹治彩音、穴戸琴海、菅野琉夏、清水奏芭 男子個人/高橋真叶
- 第52回東北高等学校弓道選手権大会(第50回東北高等学校弓道選手権大会記念大会) ……近的競技 女子の部/団体競技
- 第52回東北高等学校弓道選手権大会(第50回東北高等学校弓道選手権大会記念大会) ……近的競技 団体戦/佐藤葵、蛭田凜、高橋りほ、鈴木茉莉 渡辺心晴、宮川結生、安田菜々彩
- 第46回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 ……男子個人戦/橋川英俊 女子個人戦/山上英里子
- 第46回全国高等学校総合文化祭 囲碁部門 ……女子個人戦/山上英里子
- 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 ……将棋部門 女子個人戦/鈴木由香
- 全日本ジュニアテニス選手権 2022 ……女子 U-16シングルス、U-16ダブルス/鳴海春佳
- 第70回東北高等学校選手権水泳競技大会 ……高校男子50m自由形、100m自由形/佐藤輝 高校男子200m自由形、400m自由形/小西凜
- 第18回全国物理コンテスト 物理チャレンジ2022 ……第2チャレンジ(全国大会)/安齋康介、飯塚運生、大須賀太一、服部想性 優良賞/服部想性
- 第27回東北高等学校新人陸上競技選手権大会 ……男子800m/藤田悠舜 女子3000m/今村学実 女子2000mSC/須藤睦実
- 第77回国民体育大会 アーチェリー競技 ……少年女子/清水奏芭、菅野琉夏
- 第74回全日本合唱コンクール東北支部大会 ……高等学校部門Aグループ
- 第36回東北地区高等学校囲碁選手権大会 ……女子団体/山上英里子 男子団体/橋川英俊
- 第17回全国高等学校囲碁選抜大会 ……男子個人戦/橋川英俊 女子個人戦/山上英里子
- 第66回 日本学生科学賞 中央審査 ……入選3等 木村学人
- 令和4年度 第41回全国高等学校アーチェリー選抜大会 ……女子個人戦/清水奏芭
- 第12回科学の甲子園全国大会
- 第33回日本数学オリンピック ……大内葵衣
- 第31回全国高等学校将棋新人大会 ……女子個人戦/鈴木由香
- 第38回東北インドアテニス選手権大会 ……女子ダブルス/鳴海春佳



進学展望

進路希望の動向

令和五年度の大学入学共通テストの志願者数は五十一万二千五百八十一人で昨年より一万七千七百八十六人減少した。なお福島県内では昨年度より三百人程度少ない出願数であった。二年前より「大学入学共通テスト」に変更となったため今年度が三回目の試験となった。初年度から出題されている対話形式の問題イラストから選考問題、実験を題材とした問題などが今年度の共通テストでも出題されたが、本校生は落ち着いて二日間の試験に臨んだようである。

全国の科目別平均点では、昨年に比べリーディングは難化、国語はやや難化した。リスニングは前年並みだった。逆に昨年難化した数学は今年、数学ⅠA・ⅡBとも大幅に平均点が上昇し上位者が増加、易化した。理科では生物と化学の平均点が昨年に続き下降した。また、地歴公民では世界史の点数が低下した。前年難化した日本史は今年、点数が上昇した。このため、平均点が大幅に上昇し、七科目の平均点(九百点満点)は文系では二十五点、理系では四十点程度、昨年度を上回る事になりそう。結果的に高得点者が多い得点分布になっている。なお、今年度は生物、化学で得点調整が行われたため受験生に対し公平性を図ったと言える。

全国的な傾向としては、国公立大が堅調な人気を示す一方、私立大は

昨年度並みの堅実な出願をする傾向が見られる。学部別動向にも変化が見られ、文系学部では経済学・経営学・商学系統や社会学系統の志願者が増加しているものの他の学部では前年に比べ志願者が少ない傾向が見られる。理工系は前年並みだが、分野による差が大きく、情報系の人気が高くなっている。また、医学・薬学・農学系統などの志願数が増加しており二年前のような理高文低の傾向が見られる。文理融合型の学部の人気も高くなっている。

本校における志願動向だが、国立では旧帝大を中心とした難関大学や地域拠点大学への出願もほぼ例年通りだった。具体的な出願数については下記の「入試出願状況」に示す。東北大の出願数については前後期は減少したものの総合型選抜(旧AO入試)が増え全体としては増加した。北海道大もやや増加した。福島大の出願数は大幅に増加したが、山形大は逆に大きく減少した。昨年増加していた新潟大は今年出願数が減少した。また、東京大、京都大、一橋大、東京工業大といった超難関校にも多くの本校生が挑戦する。

私立大学では例年通り首都圏の大学への出願が多いが、早稲田大、東北学院大、中央大、立教大などへの出願が増加した一方で、上智大などは減少している。全体としては昨年より多い出願数となっている。

新しい入試制度をはじめとして様々な変化が待ち受けているが、福高の精神である「世の為たれ」の実現に向け、全国津々浦々に美しい梅花を咲かせてもらいたい。

入試出願状況 (現役の延べ数・推薦、AOは含まない) 2月10日現在

項	大学名	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
国公立大	北海道大	10	8	12	10
	岩手大	5	6	1	3
	東北大	38	47	50	59
	山形大	17	35	22	30
	福島大	82	52	103	91
	茨城大	2	11	10	11
	筑波大	13	9	14	13
	宇都宮大	3	7	5	11
	埼玉大	21	25	17	19
	千葉大	17	17	22	23
	東京大	3	7	10	9
	東京外語大	2	1	0	6
	東京工業大	4	2	5	0
	一橋大	4	1	4	1
	横浜国立大	8	4	4	2
	新潟大	32	43	32	39
京都大	1	4	4	8	
その他	62	68	63	62	
県立医科大	35	21	25	17	
県立会津大	1	1	3	4	
高崎経済大	11	7	5	2	
その他	28	34	40	25	
私立大	東北学院大	52	27	25	25
	青山学院大	15	11	6	10
	慶應義塾大	6	6	8	9
	上智大	2	15	1	5
	中央大	46	19	47	36
	東京理科大	27	27	14	21
	日本大	16	9	10	13
	法政大	47	30	57	26
	明治大	40	29	31	35
	立教大	25	5	22	17
	早稲田大	41	11	21	33
	その他	322	282	252	328
	国立大学合計	324	347	378	397
公立大学合計	75	63	73	48	
私立大学合計	639	471	494	558	
総計	1038	881	945	1,003	

大学合格者数 (過年度卒を含む)

項	令和3年	令和2年	令和元年	平成31年	
国公立大	北海道大	3	4	3	3
	岩手大	4	0	1	5
	東北大	32	35	35	29
	山形大	12	11	15	19
	福島大	17	42	37	36
	茨城大	3	3	6	4
	筑波大	2	12	8	8
	宇都宮大	2	3	8	5
	埼玉大	10	11	9	13
	千葉大	7	13	5	13
	東京大	2	6	8	4
	東京外語大	0	0	2	1
	東京工業大	1	3	0	1
	一橋大	1	0	2	3
	横浜国立大	2	3	0	2
	新潟大	21	14	17	31
京都大	1	3	2	3	
その他	26	35	31	19	
県立医科大	21	22	14	12	
高崎経済大	4	3	0	4	
その他	12	16	16	10	
小計	183	239	219	225	
私立大	慶應義塾大	8	8	11	5
	早稲田大	9	12	15	12
	中央大	27	26	17	18
	明治大	16	17	27	16
	法政大	24	23	11	11
	立教大	4	7	15	6
	日本大	12	11	15	15
	東北学院大	27	24	24	22
	同志社大	0	2	1	2
	その他	235	245	240	192
	小計	362	375	376	299
準大	2	3	0	2	
短期大	4	3	4	1	
各種学校	2	1	2	2	
合計	8	621	601	529	
就職	0	1	1	1	

寄贈図書紹介 (令和4年1月~12月)

寄贈年月日	書名	著者名	寄贈者(敬称略)	寄贈年月日	書名	著者名	寄贈者(敬称略)
2022.03.11	SDGsダイバーシティBOOK みんなが“活き、活かされる”社会をつくる 未来の授業	佐藤真久 監修	宣伝会議	2022.06.14	はりりんの歌	針馬日出美 著 仰木奈那子 編	仰木奈那子
2022.03.11	近藤誠一全集 1	近藤誠一	近藤誠一、写真文化首都「写真の町」東川町	2022.07.11	隷従への道 要約版 併録/漫画・隷従への道、社会主義と知識人	フリードリヒ・A・ハイエク	日本税制改革協議会
2022.03.11	東日本大震災からのスタート 災害を考える51のアプローチ	東北大学災害科学国際研究所 編	東北大学災害科学国際研究所	2022.07.26	渡辺健寿弁護士のくらしの法律	渡辺健寿	渡辺健寿(福高17回卒)
2022.03.28	県文学集 第69集 第74回福島県文学賞受賞作品集	福島県文化スポーツ局文化振興課 編	福島県文化スポーツ局文化振興課	2022.07.26	渡辺健寿弁護士のくらしの法律	渡辺健寿	福島民報社
2022.03.28	あの時をわすれない。進み続けるために。 “わ”で奏でる東日本応援コンサート 2011-2021	—	セイコーホールディングス	2022.08.29	弁護士のおすすめ 最強資格のリアル。 そして令和版司法改革へ	宮島渉、他	ロースクールと法曹の未来を創る会
2022.03.28	いっしょに 2021	—	詩と絵が出会う詩集 絵本制作委員会	2022.09.10	東大生が日本を100人の島に例えたら 面白いほど経済がわかった!	ムギタロー	ムギタロー(福高65回卒)
2022.03.28	福島県立安積高等学校御館校閉校記念誌	—	福島県立安積高等学校御館校	2022.09.10	東大生が日本を100人の島に例えたら 面白いほど経済がわかった!	ムギタロー	サンクチュアリ出版
2022.03.28	福島県立修明高等学校鮎川校閉校記念誌 開校から閉校まで74年の歴史	鮎川校閉校記念事業実行委員会 編	鮎川校閉校記念事業実行委員会	2022.09.28	起きあがる学校 3.11から10年 福島県双葉郡の先生へのインタビュー	千葉俊才 編	リテラシー・ラボ
2022.03.28	福島県立大沼高等学校創立百周年 記念誌 蜂苑	福島県立大沼高等学校創立百周年記念事業実行委員会 編	福島県立大沼高等学校創立百周年記念事業実行委員会	2022.09.29	市民がまちを育む 現場に学ぶ「住まいまづくり」	大月敏雄、他 編著 板垣勝彦、他 著	板垣勝彦(福高51回卒)
2022.03.28	東日本大震災・原子力災害10年の記録	—	福島県広報課	2022.09.30	図書室のはこぶね	名取佐和子	福高職員
2022.03.28	3.11航空写真で見る復旧・復興の記録	—	東北地域づくり協会	2022.09.30	夏の体温	潮尾まいこ	福高職員
2022.04.10	私の遺言書 名將や偉人達から学んだ 成功の秘訣 夢を見て 夢を追いかけ 夢を 食う(後編)	国分秀男	国分秀男(福高14回卒)	2022.10.03	ノルウェイの森 下	村上春樹	福高3年生
2022.04.10	核災10年、福島からの声 原発・裁判・文学の記録	澤正宏	久間善定(福高15回卒)	2022.10.04	学年最下位が京大合格した手抜き勉強 大全 最速で5教科マスターする裏道ガイド	篠原好	篠原塾
2022.04.10	詩集 山百合	久間カズコ	久間善定(福高15回卒)	2022.10.18	伝えたい 福島原発事故から10年	福島県退職女性教職員あけぼの会 編	福島県退職女性教職員あけぼの会
2022.04.10	詩集 帰り道	久間カズコ	久間善定(福高15回卒)	2022.10.19	全力疾走 第94回選抜高等学校 野球大会出場記念 「小さな学校の大きな可能性」への挑戦	—	福島県立只見高等学校野球部甲子園出場後援会
2022.05.02	民法概論 1 民法総則 第2版	山野日章夫	山野日章夫(福高29回卒)、 高橋俊文(福高38回卒)	2022.10.19	近藤誠一全集 2	近藤誠一	近藤誠一、写真文化首都「写真の町」東川町
2022.05.02	民法概論 2 物権法	山野日章夫	山野日章夫(福高29回卒)、 高橋俊文(福高38回卒)	2022.11.01	福島県立いわき光洋高等学校 創立30周年記念誌 自主・自学・自律	—	福島県立いわき光洋高等学校創立30周年記念事業実行委員会
2022.05.17	「正しさ」の商人 情報災害を広める風評加害者は誰か	林智裕	林智裕(福高50回卒)	2022.12.14	福島県立白河高等学校創立百周年記念誌 登龍	創立百周年記念誌編集部 編	創立百周年記念事業実行委員会、福島県立白河高等学校
2022.05.31	国際地域研究 4	北海道教育大学函館校国際地域研究編集委員会 編	北海道教育大学函館校	2022.12.14	福島県立白河高等学校創立一〇〇周年 記念誌別冊 白河高等学校山岳部甲子山遭難 ヒンデュー・クシュ遭難記録 星六つ	—	創立百周年記念事業実行委員会、福島県立白河高等学校
				2022.12.28	知の梁山泊 草創期福島大学経済学部の研究	阪本尚文 編	山野日章夫(福高29回卒)

(その他多数の寄贈図書をいただきました)

福島県立福島高等学校同窓会 役員および事務局員

令和4年度 同窓会役員

会長	芳賀 裕	高22回
副会長	関口 哲雄	高20回
副会長	重富 秀一	高21回
副会長	箱崎 一彦	高23回
副会長	高橋 雅行	高24回
副会長	丹治 正博	高26回
常任理事	磯貝 健郎	高13回
常任理事	富田 建一郎	高16回
常任理事	熊坂 英二	高18回
常任理事	佐久間 政文	高19回
常任理事	佐藤 信雄	高21回
常任理事	大野 順道	高22回
常任理事	塚原 真司	高24回
監事	松野 孝司	高20回
監事	尾形 克彦	高22回
理事	角田 征雄	高12回
理事	三瓶 昌久	高13回
理事	久家 孝夫	高13回
理事	若槻 武雄	高14回
理事	渡辺 博美	高17回

理事	横山 純	高17回
理事	木戸 孝志	高17回
理事	小林 勇一	高17回
理事	勢島 昇	高18回
理事	斎藤 高紀	高18回
理事	花井 宣明	高20回
理事	伊藤 幹夫	高20回
理事	網代 智盟	高21回
理事	佐々木 孝司	高21回
理事	中田 茂実	高21回
理事	安藤 正道	高21回
理事	黒澤 信雄	高22回
理事	木村 豊	高22回
理事	二階堂 保夫	高22回
理事	江口 淳	高23回
理事	穂積 寿男	高23回
理事	鈴木 浩一	高23回
理事	渋谷 修一	高24回
理事	石原 裕人	高24回
理事	高荒 俊勝	高24回

理事	高橋 通夫	高25回
理事	後藤 忠久	高26回
理事	土屋 牧雄	高26回
理事	武藤 進	高26回
理事	阿部 芳和	高27回
理事	鈴木 眞一	高27回
理事	片平 淳	高28回
理事	五十嵐 俊道	高28回
理事	今関 達也	高28回
理事	芳見 弘一	高28回
理事	加藤 勇治	高29回
理事	金子 弘保	高29回
理事	土田 淳	高29回
理事	加藤 孝一	高30回
理事	島田 久	高31回
理事	八子 直樹	高31回
理事	大和田 利明	高31回
理事	太田 英晴	高31回
理事	樋口 幸一	高32回
理事	藤野 貴	高32回

理事	篠木 雄司	高33回
理事	吉成 健二	高33回
理事	関根 英樹	高33回
理事	渡辺 健二	高33回
理事	手塚 徹	高34回
理事	菅野 剛広	高34回
理事	鈴木 宏幸	高36回
理事	阿久津 順二	高37回
理事	黒森 陽一	高37回
理事	板垣 隆	高37回
理事	大槻 剛人	高37回
理事	三浦 康伸	高39回
理事	日下 直哉	高39回
理事	佐藤 智宏	高39回
理事	引地 孝之	高44回
理事	吉田 大樹	高45回
理事	遠藤 武義	高52回

令和4年度 同窓会事務局員

佐藤 誠一	高28回
菅野 和弘	高31回
齋藤 嘉浩	高32回
国分 聡	高33回
斎藤 実	高37回
佐藤 達男	高37回
中原 勝	高41回
渡邊 洋生	高43回
菅野 祐智	高44回
我妻 智	高46回
根本 浩之	高46回
富良野 和信	高48回
菅野 陽介	高54回
渡邊 優輔	高54回
菅野 祐哉	高56回
香野 学	高56回
金川 勇次	高30回
神田 亮一	高32回
安藤 ゆずな	高70回

同窓会事務局 (福島高校内)

〒960-8002 福島市森合町5-72
TEL.024-535-2391 FAX.024-535-2392
http://www.baienkai.org

みやぎ梅苑会事務局

〒981-0923 仙台市青葉区東勝山二丁目22-6
TEL.022-275-2887 (落合 敏伸)
https://miyagi-baienkai.com

関東梅苑会事務局

〒150-0043 渋谷区道玄坂1-15-3 プリメーラ道玄坂110号信陵会館内
TEL.03-3462-1225 FAX.03-5489-1358 (島田 久)
https://www.kantobaienkai.ne.jp